岩見沢周辺撮影会案内　②いわみざわ公園バラ園周辺へ

2024.10，2025.5

岩見沢駅から「いわみざわ公園」へは、いくつかのアクセス方法があります。

①－1　まなみーるから、駅前通りを駅の反対方向に向かい、徒歩で撮影をしながらいわみざわ公園に向かうコース。

①－2　公共交通機関でいわみざわ公園に移動し、そこを起点に見晴台までのハイキング的なコースをたどるコース。

①－1　徒歩でいわみざわ公園へ（移動時間約70～80分）

もし時間に余裕があれば、駅からいわみざわ公園までの道中も撮影のチャンスが隠れていますよ！

国道 12 号線を渡って行きます。右手に岩見沢農業高校を見ながら道沿いに歩きます。ひたすら歩きます。道なりに行くと、

左手に、美しい庭園が魅力のケーキ屋さん「**赤いリボン**」があります。美味しいケーキだけでなく、かわいらしいお土産も見つかるかもしれません。

そのまま、道なりに進むと北海道教育大学岩見沢校の門が見えてきます。ここは実質6本の道に分かれるので、斜め右に進みます。

坂道を降りて行き、②「あやめ公園」に向かう場合は、看板を目印に左に入り、住宅街の先にあります。秋にはアヤメは咲いていませんが、のびのびとした空間は、近所の方々の散歩コースとして利用されています。水辺の風景などが撮影できると思います。元の道を

戻ると、遠回りなので、小川の奥の橋を渡り、階段を上がった所が公園なので、そこから元の道に戻るのが近いです。

高速道路と墓地を越えるあたりは坂のアップダウンが多いところなので大変ですが、普段と違った視点があるかもしれません。その先の信号のある交差点を左に曲がります。この交差点には、②バラの花が多く植えられています。

①あやめ公園

②交差点のバラ

③ポプラ並木

そのまま、直進すると、グリーンランドの向こうに「いわみざわ公園」が見えてきます。この付近は、③ポプラ並木が所々にあるのですが、道路の両側にポプラが植えられている場所は、この近辺に限られています。

公園内には、案内所と温室植物園(有料)、レストランや軽食をとることができる施設があります。歩いてきた人は、とりあえず休憩や食事が必須かと思います。もちろん外で休むのもありです。

④園内には、490 種 8,600 株のバラやハマナスが植えられています。バラ園は庭園風の配置になっています。品種によってはまだ咲いているものもありますので、背景を工夫しながら撮ってみてはどうでしょうか。その奥には広場や池があります。池には10月でもスイレンが咲いていました。

④園内の配置(説明のため展望台より)

⑤スイレン咲く池

⑥バラのつぼみ(10月)→

ここも、市民の憩いの場として多くの人が訪れる場ですので、色々な出会いがあるかもしれません。

①ー2 いわみざわ公園から見晴台へのコース（移動時間約60分）

まなみーるから、いわみざわ公園に向かう交通機関としては

〇タクシー: 約 2,000 円　**〇バス**: 約 20 分、240 円　があります。

地図は、「利根別原生林 MAP」から拝借しました。

いわみざわ公園のバラ園からは、徒歩約 30 分で「**見晴台**」にたどり着けます。山道なので少し体力は必要ですが、そこからは岩見沢市内を一望できる絶景が待っています！開放感あふれる風景はきっと素晴らしい作品につながるはずです。

見晴台の建物は起点の駐車場からも見えるので、位置を確認します。「自然観察道」の標識に従い、山に向かって行くと横に伸びる道があるので、左方向に向かいます。はじめは芝生の道をややジグザグの道を登って行きます。野外ステージキタオンを眼下に高度を上げていきます。

やがて、A東屋が見えてきます。このあたりから、山道らしくなってきます。トドマツの人工林を抜けると、里山らしいB広葉樹が主体となっていきます。紅葉と落葉、どちらも使い方次第でしょう。

やがて、C見晴台（展望台）見えてきます。この建物は、少し迷路のような感じですが、とりあえず上に行けば、周囲の木を上から見下ろすことができるようになります。高さはありますが、木造です

A東屋の先　B落葉の模様　C見晴台　観覧車も見下ろす　個性的な造り　広い視界↓

広い視界が望めます。

カラスがこちらの様子を伺っていました。実に人間くさい鳥です。

ここからは、見晴台の反対側に抜けて、舗装道路を降りていく道を紹介します。移動時間は出発地点まで 30 分程度です。

まずは、Dこの木道です。足下が木質材料でできていて、とても不思議な踏み心地です。また、この道というか橋になっているので、個人差はあると思いますが、空中散歩気分を味わえるかもしれません。

D 木道

この木道を渡りきると、数台分の駐車場があるので、そこを左に降りていきます。E道幅は広いですが、車通りは少ないです。とはいっても、カーブが多いので、油断は禁物です。

Eカーブが多い 何か撮れるかな

F紅葉は微妙な時期

紅葉には少し早いでしょうが、これればかりは自然に聞かないとわかりません。

F下まで降りたら、左に向かうと、先程見ながら歩いたキタオンがありますので、そこを通過すると、元の駐車場方面に戻ります。

この後は、バラ園などの写真が撮れると思います。また、山の縁にあたる林内は野鳥も豊富です。

「自然と人間の調和」が岩見沢の根底にあります。そのことを体感していただけるとうれしく思います。